

科目ナンバリング		U-LAS07 10008 LJ31												
授業科目名 <英訳>		日本の経済 Economy of Japan					担当者所属 職名・氏名		経済学研究科 教授 田中 彰					
群		人文・社会科学科目群			分野(分類)		日本理解			使用言語		日本語		
旧群		A群	単位数	2単位		週コマ数		1コマ		授業形態		講義（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期		2025・後期		曜時限		金3			配当学年		1回生		対象学生 留学生	
[授業の概要・目的]														
初学者を対象として、日本経済の歴史と現状を学ぶ。日本は、非欧米地域で最初に先進国となった国であり、その歴史的プロセスそのものが多くの発展途上国にとっての先駆的経研として興味深いものである。しかも、その過程は単純なキャッチアップではなく、「日本型経済システム」、「日本的経営」などと呼ばれる、欧米とは異なるタイプの経済社会を形成するものであった。現在ではこのような「日本独自」の特徴の否定的な側面が大きくなってきている。このため日本経済の現状をよりよく理解するうえでも、歴史的な経過を学ぶことが不可欠となっている。 原則として2回で1単位とし、受講者の理解度を確認しながら時間をかけて講義する。毎回、講義後に質問・コメントを求め、次回で解説する。														
[到達目標]														
1. 日本経済の現状を歴史的視座から語れるようになること。 2. 日本経済の多様な側面をひとつのシステムとして具体的・包括的にとらえること。 3. 日本経済システムの改革の方向性について具体的根拠をもって語れるようになること。														
[授業計画と内容]														
1. イントロダクション 2. 日本型企业システムの源流論 3. 同上 4. 戦後日本経済の長期動態 5. 同上 6. 企業集団の形成・発展・無機能化 7. 同上 8. 下請制からサプライヤーシステムへ 9. 同上 10. 人口減少・高齢化と日本経済 11. 同上 12. 日本の労使関係を超えて 13. 同上 14. 長期停滞と現代日本経済 15. フィードバック														
[履修要件]														
日本語・日本文化研修留学生専用科目として開講する。														
-----日本の経済(2)へ続く↓↓↓-----														

日本の経済(2)

[成績評価の方法・観点]

平常点（授業への参加状況、授業中の発言、リアクションペーパー）60%、期末レポート40%。欠席回数が4回以下であることを期末レポート提出の条件とする。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）

野口悠紀雄『日本経済入門』（講談社現代新書）ISBN:978-4-062-88416-7

浅子和美・飯塚信夫・篠原総一編『入門・日本経済 第6版』（有斐閣）ISBN:978-4641165618

大野健一『途上国ニッポンの歩み 江戸から平成までの経済発展』（有斐閣）ISBN:978-4-641-16231-0

小峰隆夫・村田 啓子『最新 日本経済入門 [第6版]』（日本評論社）ISBN: 978-4535559028

[授業外学修（予習・復習）等]

教科書や講義資料を用いて復習すること。関心のあるトピックについては参考書を読んで理解を深めることが望ましい。

[その他（オフィスアワー等）]

面談希望者はメールで予約のこと。メールアドレスは tanaka.akira.3z@kyoto-u.ac.jp。

[主要授業科目（学部・学科名）]